

美術館も春らんまん！ MOMAT コレクション

会期：2026年3月3日（火）～5月10日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー4～2階

名品続々！今期のおすすめは、当館と国立工芸館（金沢）のコレクションで構成する

明治時代の作品特集、彫刻好き垂涎の新収蔵メダルド・ロッソ作品の公開、

独自の「構成写真」で知られる植田正治の特集です。

毎年恒例「美術館の春まつり」（3月13日～4月12日）、また1階企画展ギャラリーで

開催する「下村観山展」にちなんだ出品作もお見逃しなく。

当館の所蔵作品展は、保存の観点から会期ごとにほぼすべての作品が入れ替わります。

一度出品されたらしばらく見られない作品も少なくありません。近代美術史を見通しながら

いつも新鮮なトピックに触れられる MOMAT コレクションをぜひお楽しみください。



[1] 初代宮川香山《鳩桜花図高浮彫花瓶》
1871-82年頃、国立工芸館蔵
撮影：アローアートワークス ©2005



[2] 横山大観《迷児》1902年
[前期展示（3月3日～4月12日）]

今期のおすすめその1 迷い、挑む。明治の表現（4階2室）

当館と国立工芸館（金沢）とのコラボレーション企画。両館のコレクションを通じて、

アジアの近代国家として歩みはじめた日本の美術・工芸作品を紹介します。1階で開催の

「下村観山展」（3月17日～）にちなみ、観山の盟友・横山大観《迷児》（1902年）[前期展示（3月3日～4月12日）]と、観山の師・橋本雅邦《臨濟一喝》（1897年）[後期展示（4月14日～5月10日）]の

2点の新収蔵品も紹介します。

みどころ

重要文化財の鈴木長吉《十二の鷹》や、
新収蔵の金森宗七《花鳥文様象耳付大花瓶》など工芸館所蔵の名品が目白押し！



[3] メダルド・ロッソ
《Ecce Puer（この少年を見よ）》
1920-25年頃 撮影：大谷一郎

今期のおすすめその2 新収蔵&特別公開 | メダルド・ロッソ 《Ecce Puer（この少年を見よ）》（2階ギャラリー4）

イタリアの彫刻家メダルド・ロッソ（1858-1928）の《Ecce Puer（この少年を見よ）》を初公開します。

寡作ながら、多くの重要作品を残し美術史に名を刻むロッソ。ロッソがキャリアの最後に手掛けた、
最高傑作とも名高い《Ecce Puer（この少年を見よ）》を、同時代の作品、現代の作品を交えてご紹介します。

みどころ

ロッソの代名詞ともいえる作品。半透明の蠟（ワックス）による彫刻が光を孕み、
周囲の空間と溶け合い一体となるような表現をご堪能ください。



[4] 植田正治
《パパとママと子供たち》1949年

今期のおすすめその3 植田正治 砂丘劇場（3階9室）

故郷である鳥取県を拠点に活動し、カメラ店を営むかわらで国際的に評価を受けた

写真家・植田正治。彼の代名詞となったのは自宅近くの砂浜や鳥取砂丘を舞台にした

演出写真のシリーズです。山陰地方特有のやわらかい光と、広々とした砂丘の空間を背景に

植田自身の家族が並ぶ独特のユーモラスな写真は、今も多くのファンを獲得しています。

みどころ

ほほえましい印象の一方で、緻密な構成が光る植田の写真。
「植田調」として知られる独自の世界をお楽しみください。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良

Tel：03-3214-2565（直通） Email：pr-f@momat.go.jp



開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」(しよぞうさくひんてんもまっとこれくしょん)

(英) Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4 階から 2 階

会期：2026 年 3 月 3 日 (火) ～ 2026 年 5 月 10 日 (日)

休館日：月曜日 (ただし 3 月 30 日、5 月 4 日は開館)

開館時間：10:00-17:00 (金曜・土曜は 10:00-20:00) ※入館は閉館 30 分前まで

観覧料：一般 500 (400) 円 / 大学生 250 (200) 円

※ () 内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の 17 時以降は、割引料金 (一般 300 円、大学生 150 円)

※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者 (1 名) は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b 出口) 徒歩 3 分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「下村観山展」

2026 年 3 月 17 日 (火) ～ 5 月 10 日 (日)

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/567>

*「下村観山展」の観覧料で、入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」とギャラリー 4「コレクションによる小企画」もご覧いただけます。



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。

最大の特徴は重要文化財 18 点 (うち 2 点は寄託) を含む

14,000 点近い国内最大級のコレクション。19 世紀末から今日まで、

日本の近現代美術を中心とする多数の名作を所蔵しています。

都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室

「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。

ご取材お待ちしております！

東京国立近代美術館には、「コレクション情報発信室」があります。所蔵品を管理する美術課に所属し、作品の魅力や楽しみ方を広報する部署です。当館の所蔵する日本随一の作品群は、まだ十分に知られていません。いつでも気軽にご連絡ください。コレクションをよく知る研究員が、みなさまからのご取材を心よりお待ちしております。



きんたい ちかよ
近代近代

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良

Tel : 03-3214-2565 (直通) Email : pr-f@momat.go.jp

